

サポートブックをつくろう☆

平成29年12月18日 医療型児童発達支援 ぐんぐん

サポートブックとは・・・

子どもさんに関わる方に向けて、子どもの特徴(行動、コミュニケーション、身体の状態、感覚等)とその対応方法・介助方法をわかりやすくまとめたものです。

サポートブックのメリットは・・・

- ・ 言葉では伝えきれない多様なことを伝えることができます。
- ・ 複数の支援者と子どもの姿を共通理解でき、一貫した支援ができます。
- ・ 早くから適切な支援が可能となり、子どもが安心、安定して生活が送れます。
- ・ 支援計画の手がかりとなり、保護者の願いを伝える手段にもなります。



子どもが安心して過ごせる＝保護者の不安軽減に繋がる

保護者が作成する意味は・・・

- ・ 家族ならではの生活に根付いた豊富な情報が書けます。
- ・ 子どもを見つめなおし、子どものことを客観的に整理する機会になります。
- ・ 環境や支援者、子どもの姿が変わっても、書き換えてつないでいくことができます。

子どもの特徴と現状をしっかりと整理し、子どもの姿に添った対応を伝えましょう。
どんな子どもに育てたいのか、保護者としての願いや想いを伝えよう。

作り方のポイントは・・・

① 支援者の立場に立って作成する。

支援者にとって

- 「わかりやすい」
- 「安心できる」
- 「不安やプレッシャーを与えない」
- 「具体的な支援ができる」

書き方を心がけよう!!

【例】

「〇〇ができるように指導してください」 → 「〇〇するとうまくいきます」
「□□を必ずしてください」 → □□を行うと楽にすごせます」

- ☆ 集団生活になったらどんなこと(場面)にこまるかなあ。
- ☆ ぜったい知って欲しい事は何かあ。

② 必要性に合わせて項目や内容の比重を考える。

使う場所(どこで)、使う人(だれが)、目的(どんなふうに)で使用するかによって、必要な項目、サイズを考えましょう。

各項目ごとにページを変える。(必要な分だけ渡せる。書き換えが簡単)
重要なことを先に書く。

③ 具体的なエピソードを加えるとイメージしやすい。

必要な項目・・・

前向きな気持ちで支援できます♪

たとえば

【プロフィール】

* 愛称や緊急連絡先など

* 性格・長所：人なつっこい、恐がりだけど何度かやるとできる、積極的 or 消極的、やりたいけど自信がない etc…

* 保護者分離(集団生活)経験の有無やその時の様子など

* どうしたら伝わる・伝えられるの？

表出面…要求の方法、特徴

理解面…わかりやすい伝え方(単語・ジェスチャー・カード・文字など)

【日常生活】

食事：好き嫌い、アレルギー、介助方法、姿勢、道具、配慮、マナーなど

排泄：排尿・排便それぞれの介助方法、排尿時間、サイン、便座(和式・洋式)の使用、トイレットレーニングの進み具合など

着脱：介助方法、服の好みなど

清潔：洗面、歯磨き、手洗いの方法など

必要に応じて入浴や生活リズム、睡眠、起こし方なども記載

* その他生活場面で使用する器具、移動方法、装具の着脱 など

【あそび】

好きなこと、苦手なこと

自由な時間の過ごし方(屋内、屋外)

【感覚面の特徴】

視覚・聴覚・触覚・味覚・嗅覚の敏感または鈍感さ

好きな or 嫌いな感覚

【医療面】

発作：どんな発作→その時の対応(薬使用、通院の見極めポイント)

平熱：何度から発熱？体調の見極めポイントは？→体調不良時の対応は？

吸引：必要な時はいつ？行う時の姿勢、必要道具、留意点は？吸引以外の対処法は？

体温、薬、体の管理面、なぜケアが必要かなど…

【行動の特性】

パニック、不安の原因になりそうなこと→その時様子→対処法

くせ、こだわり、決まりごと→どんなときにでるか→対応方法

危険認知や危険な行動→どんなことに注意すればよいか

【その他】

- ・ 外出時の支援、ショートステイなど宿泊時の支援
- ・ 苦手なことや嫌な事があったときの回避方法

サポートブックに掲載する項目・順番・内容などは子どもさんによって様々です。
こども・保護者も・サポートブックを受け取る人も、みんなが安心して過ごせるために
すてきなサポートブックを作りましょう!!